



8/7 戦争の悲惨な体験談を子どもたちへ 喜多区老人会

戦争中の体験談などを子どもたちに知ってもらおうと、喜多区老人会（会長 大塚修さん）12人が、同公民館で、「喜多子ども会」の子どもたちに「語り継ごう喜多区子ども会へ」と題し、語ろう会を開催しました。この日集まった夏休み中の子どもたち15人は、老人会の皆さんから戦時中の生活状況や、食べ物がなかったこと、苦勞を重ねた生活ぶりなどの話を、静かに聞き入っていました。

6年生の宮田彩羽さん、北野千夏さん、長野芽依奈さんは、「戦時中は、米も取れなく大変で、戦後も貧しい生活をされていたことが分かり、戦争のことを詳しく知ることができました」と感想を話してくれました。



「語ろう会」に参加した喜多区老人会と子ども会の皆さん

8/6~12 プールでカヌー体験会！ 白水 B&G 海洋センター

白水B&G海洋センターでは、教育効果の高い自然体験に興味を持ち、安全に楽しく水辺で遊び活動をしてもらうために、村内の小学生を対象に「水辺の安全教育 プールでカヌー体験会」を実施しました。小学生58人の参加があり、初めはうまくカヌーに乗ることができない子どもたちも練習を重ねるうちに上手に操船することができるようになりました。また、背浮きやライフジャケット浮遊体験、身の回りにある浮く物（ペットボトル）を利用した落水時の対処法などの実体験を通して水辺で安全に活動できる知識や技能、知恵を身に付けるための教室も実施され、楽しい体験会になっていました。



カヌーの操船に挑戦する子どもたち

8/20 たくさんのトマトありがとうございます JA 阿蘇南部トマト部会

JA 阿蘇南部トマト部会（部会長 浅尾継也さん 第五駐在）が、村内5つの保育所にトマトを贈りました。

園児に向け浅尾部会長が、「愛情がいっぱい込もったトマトを食べて元気に仲良く頑張ってください」とあいさつされると、園児たちは「ありがとうございます」とお礼を述べました。贈られたトマトは肉質がしっかりとした品種の「りんか」。

久木野保育所では、一箱24個入りのトマト5箱が贈られました。

贈られたトマトは、この日の給食で出され、残りは園児がお土産として持ち帰りました。



トマト部会の皆さんからトマトを受け取る園児たち

8/14~16 幻想的な兔の石が夜空にくっきりと！ 「兔の石」ライトアップ

「兔の石」のライトアップ（主催 柿野山田牧野組合）が8月14日～16日の3日間実施され、お盆の帰省客や県内外から多くの観光客が訪れました。日が落ち薄暗くなった午後7時過ぎにライトが点灯されると、メイン会場の「鳥の小塚公園」で観光客やカメラマンから大きな歓声上がり、カメラのシャッターを切っていました。

公園では「トワイライトコンサート」と題し、トランペットなどの演奏が行われ、観光客らを魅了しました。

関係者の牧野組合員は、「ライトの設営など準備は大変でしたが、お客さんに感動や喜びを与えることができよかった、また来年も実施したい」と意欲を見せられました。



ライトアップされた「兔の石」

9/3 ミニトマトおいしいな JA 阿蘇白水ミニトマト部会

JA 阿蘇白水ミニトマト部会（部会長 足立照晃さん 中松三）の役員3人とJA職員2人が白水保育所を訪れ、ミニトマトを贈りました。

贈られたのは、「キャロルスター」という品種で、3kg入りの3箱のミニトマト。

足立部会長から、「美味しいトマトをみんなにおいしく食べてほしいので一生懸命作りました。今日はいっぱい食べてください」と4クラスの代表園児に渡されました。

園児たちは、お礼にトマトの歌を歌い、その日の給食で出されたミニトマトをおいしそうに食べていました。



ミニトマト部会の方からミニトマトを受け取る園児たち

8/23 にぎやかに歴史と伝統の継承 鎮火祭（吉田一区）

西安寺境内に火伏地藏尊を建立し、毎年8月23日、火伏地藏を祀る「鎮火祭」（吉田一区鎮火祭実行委員会主催）が開催されました。

同日、午後5時30分から本祭が白水庁舎駐車場で行われ、ステージイベントでは、地元新町青年や、両併地区青壮年による「仁〇加」（にわか）、「赤蛸 sekiei」さん（芸名 人吉市在住）の「ファイヤー・ショー」が披露。会場内では、数々の屋台が並び、祭り終盤で豪華賞品が当たる「くじ引き」も行われ、多くの来場者で賑わっていました。



来場者を魅了した「ファイヤー・ショー」

9/4 有意義な図書館に！ 村図書館 検討委員会が意見書提出

村図書館 検討委員会の藤崎英廣委員長（第五駐在）が長陽庁舎を訪れ、森田輝昭教育委員長に「来年10月新庁舎へ移転し、閉庁する久木野庁舎に図書館を設置するのが妥当」という意見書を手渡しました。

昨年9月4日には、「南阿蘇に図書館を願う会」の役員の方々が図書館の視察や意見交歓会を重ね行政への意思表示の手段として署名活動を行い、1,519人分の署名を提出されています。

藤崎委員長は、「村の文化や歴史が学べて、観光や地域交流の拠点となる図書館を作っていただきたい」と要望されました。



森田教育委員長(右)に意見書を手渡される藤崎委員長(左)

9/4 かけっこもダンスも頑張りました 第5回ひよこ祭り

にこにこひよこクラブ（子育て支援センター）の「第5回ひよこ祭り」が長陽保健センターで開催され、村内外から50人の親子が参加しました。

色違いの法被を身に着けた子どもたちが神輿を担いで入場し、祭りが始まりました。

参加者で準備運動を行った後、会場内をかけっこしたり、ハイハイしてゴールを目指す競争や、親子全員参加のダンスで、「南の島のハメハメハ大王」を踊ったりしました。

競技の「はじめてのおつかい」では、一人ずつスタート。パン屋さんでパンを買って、花を摘んでゴールする姿に会場は、歓声と拍手が送られていました。



「はじめてのおつかい」でパンを買う子どもたち